

やなかわ

YANAGAWA 2012. 8月15日 No.178

今号の内容

- ◆被災に関する支援制度などのお知らせ 2~5
- ◆古文書館企画展「立花家と家臣団」ほか 6~7
- ◆ポリオ予防接種は不活化ワクチンに 8~9
- ◆ブランド認定品候補を募集ほか 10
- ◆合併処理浄化槽設置上乘せ補助ほか 11
- ◆市民のひろば(12-13) ◆俳句(13) ◆情報わいど(14-17) ◆がんばったね(17-18) ◆もちふみデビュー(19) ◆人権・同和教育シリーズ(20)



水害で異例の船上祈願

鷹ノ尾にある鷹尾神社恒例の「沖祭り」が7月31日、有明海で行われました。沖祭りは毎年旧暦の6月13日に、潮が引くのを待って干潟の上で神事を行うのが習わし。しかし、今年は九州北部豪雨の影響で流木や泥が堆積していることから、干潟に降りず2隻の漁船の上で行いました。鷹尾東、鷹尾西両行政区長を筆頭に、六合校区内の行政区長や同神社総代ら28人が、海上の安全や豊漁、豊作を祈願しました。鷹尾東行政区長の上妻勝吉さんは「沖祭りは毎年続けてきた伝統。ここで途切れさせるわけにはいきません。水害の被害もあり、私たちの今年の祈願はいつそう強いものになりました」と語りました。

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。今回は、垂見小学校1年生の3人です。

あそんでくれる

森 大地くん

ぼくは、このまえ、ひとりであそんでいたら、れおくんとしてんしょうくんがさそってくれました。「いっしょにあそぼう。」そして、ドッジボールをしました。ほんとうにつれしかったです。そして、ぼくとてんしょう



写真左から野田航太郎くん、嶋田心優さん、森大地くん

くんといっしょに、なかよしになりました。てんしょうくんは4ねんせいで、れおくんは5ねんせいです。でも、いっしょにあそぶと、たのしくてうれしくて、ありがとうございます。

うれしいこと

野田 航太郎くん

「ぼつたをつかまえにいこう。」ひるやすみに、ぼくは、ぼつたさがしをしました。でも、一歩きもとれなかったから、「もうだめだ。」とおもったとき、ぎんじくんが「あげる。」と、ぼつたをつかまえてくれたから、よかったですとおもいました。つぎは、たくさんぼつたがとれるようになったからうれしいとおもいました。もう、てにもちきれないくら

いとれたから、ぼくは、にがしであげました。

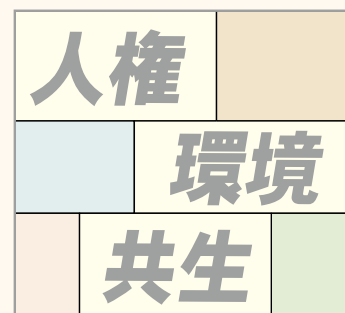
けがしたこと

嶋田 心優さん

このまえ、かわに、りんかさんとごみさんともかさといっしょにいきました。おたまじやくしがいるかなとおもっていきました。そしたら、いしにくつつまさがあたって、こけました。「だいじょうぶ。」りんかさんとごみさんが、いってくれました。いたかったけど、がまんしてぼけんしつにいきました。りんかさんが、ぼけんしつにいっしょにいってくれました。

ぼけんしつで、くすりをぬりました。ちょっとしみたけど、よくなったらいいなとおもいま

した。「いたくない。」と、りんかさんがいました。すごくうれしかったです。



【評】困ったとき、さみしいとき、優しい言葉をかけてくれる友だちや上級生がいると、うれしくなりますね。優しい言葉は、心をあたたくくします。そんな優しさが、これからも広がっていくようにしていきたいですね。